

The Japan Academy

第53回 公開講演会

講演1



講師 中野貞一郎
・日本学士院会員
・大阪大学名誉教授

医療事故と裁判
—医療の進歩に裁判は対応しているか—

講演2



講師 野崎 一
・日本学士院会員
・京都大学名誉教授

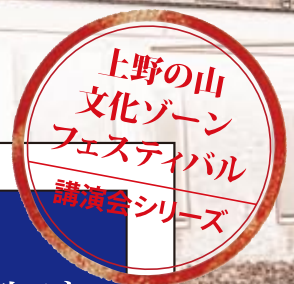
化学の功罪

日本学士院

- ・開催日 平成22年10月23日(土)
- ・時間 午後2時～5時10分
(各講演質疑を含め80分)
- ・場所 日本学士院会館(東京・上野)

定員150名・先着順

申込方法については裏面をご覧ください



聴講は無料です。

日本学士院 第53回 公開講演会



日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本講演会は日本学士院会員の話聞ける数少ない機会です。是非、奮ってご参加ください。

講演1 医療事故と裁判 ～医療の進歩に裁判は対応していけるか～

科学・技術の急速な進歩のなかで医療の著しい高度化・専門化が進んでいる。

しかし、万全を期した医療が必ずしも常に成功するとは限らず、医療を受けた人の身体や生命に受けた損害の賠償を求める訴えが提起された場合には、裁判所は、当事者が争うなかで、事故がだれのどのような行為によってどのように生じたのかを調べ、医療上の過失や損害発生に至る因果関係の存否等を判断しなければならない。

裁判官は、医学や医療の高度に専門的な知見を有せず、裁判には時間的な制約もある。そこで、医療事故紛争の解決のために必要・適切な裁判上の手続きを定立する努力が、立法と実務の両面に亘って展開されている。

さらに、医療事故紛争の特質に応じた裁判外紛争解決制度への動きも活発となってきた。これらの現況を見渡したうえで、今後を展望してみたい。

日本学士院会員
大阪大学名誉教授
なかのていいちろう
中野貞一郎



司会 会員 竹下守夫

講演2 化学の功罪

化学と深い縁が出来てからほぼ70年になる私の人生を通して、化学が人間の暮らしに及ぼしたメリット、デメリットを振り返り、今後を展望したい。

戦後の再建の中で、石油化学の勃興が果たした役割は、実に目覚ましいものがあつたが、衣食住のあらゆる面で

重大な負の影響をももたらした。例えばプレハブ住宅、塩素系農薬が浮かんでくる。化学物質、残留農薬の問題である。要は作った化学者ばかりを責めないで、モノの賢い使い方を皆で見つけよう、ということである。

日本学士院会員
京都大学名誉教授
のざきひとし
野崎一



司会 会員 堀川清司

◎事前にお申し込みが必要です(定員150名・先着順)

お申込みは メール・FAX・往復ハガキ のいずれかで「講演会希望」と明記の上、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・メールアドレスを記載してお送りください。後日、本院よりお返事を差し上げます。

※本院HP (<http://www.japan-acad.go.jp/>) からもお申し込みできます。

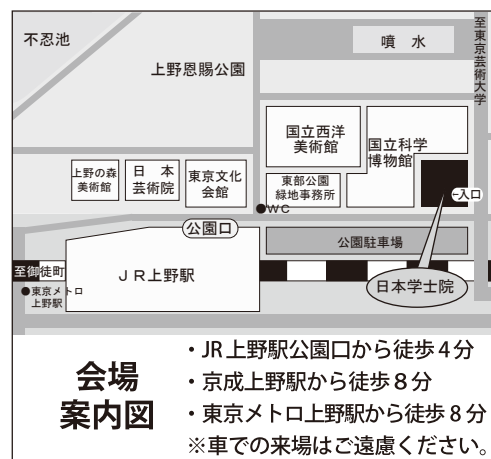


メール kouenkai@japan-acad.go.jp

FAX 03-3822-2105

往復ハガキ 〒110-0007
東京都台東区上野公園 7-32
日本学士院 公開講演会 係

お席に限りがございます。お早めのお申込みをお願いいたします。



会場案内図

- ・JR上野駅公園口から徒歩4分
- ・京成上野駅から徒歩8分
- ・東京メトロ上野駅から徒歩8分
- ※車での来場はご遠慮ください。